



(「そすいの郷」は、スマホでも見られます)

## 西地区コミュニティ親善スポーツ交流会

第37回「西地区コミュニティ親善スポーツ交流会」が9月29日(日)に開催されました。記録的な猛暑も去った中、参加者は西公民館グラウンドに集合。8時45分からの開会式に臨みました。

会長挨拶に続き、競技種目の輪投げとグラウンドゴルフについての説明があり、西公民館ホールとグラウンドに分かれ、競技開始となりました。

輪投げには、各地区からの代表6チーム(31名)に加え執行部(6名)も参加、競技が行われました。5m先の輪投げ台に向かってリング(輪)を投げ得点を競いましたが、優勝は南赤田の都築美江子さん。224点の高得点でした。2位は後藤ミサ子さん(南赤田) 3位渡辺恭子さん(三区町)でした。

なお、上位3人の合計点で競った団体戦では、1位四区町、2位三区町、3位南赤田でした。

グラウンドゴルフには、毎週火曜日と土曜日に西公民館グラウンドで練習している「そすいクラブ」のメンバーなど21名が参加。8ホール(50m・30m・25m・15m)を4回回り、その総打数を競いました。優勝は三区町の高橋勝正さん。ホールインワン①も記録し、77でのラウンドでした。2位は1打差で平田幸雄さん(南赤田) 3位も1打差で生駒 敏さん(三区町)でした。上位3人の合計点で競った団体戦では、1位三区町、2位南赤田、3位四区町でした。



## 今年の「いも煮会・西公民館まつり」は「中止」となりました。

10月27日(日)開催予定の「第36回いも煮会・西公民館まつり」は、当日、西公民館が、衆議院議員総選挙の投票所となることから、「中止」となりましたので、お知らせします。

投稿

## 第5回 神田明神子ども太鼓フェスティバル

9月16日（月・祝）に東京都千代田区の神田明神（神田神社）で第5回子ども太鼓フェスティバルが開催され、子ども疏水太鼓が出演しました。

このイベントは、発足46年の神田明神稚児太鼓を始めとした、明神和太鼓明輪会の子ども達のフェスティバルで、コロナ禍が明け6年ぶりに開催されたものです。



当日は朝からあいにくの小雨交じりの天気で、当初予定されていた境内から文化交流館の軒下に場所が移され演奏が行われました。今回の出演団体は、本拠地の神田明神稚児太鼓、神津島子ども太鼓（東京都神津島村）、保谷和太鼓会若鷹（東京都西東京市）、そして我が子ども疏水太鼓の4団体です。

子ども疏水太鼓は出演4団体のトリを務め「めばえ」「疏水祝太鼓」の2曲を演奏し、来場者からの拍手喝采を受けました。

出演した子ども達も初めての東京公演ということもあってか、顔を紅潮させ、満足げな笑みを浮かべていました。

次回の公演は3年後とのこと。毎年行われぬのは残念ですが、貴重な経験ができたことは良い思い出になったものと思います。（西公民館 藤田健司）

投稿

## 田んぼの学校で稲刈り体験

四区町環境保全会（辻野岩男代表）の狩込どじょっこ会「田んぼの学校」では、親子・協力員・指導員など65名が参加して、9月29日（日）にコシヒカリの稲刈りを行いました。5月12日に田植えをしたものです。狩込どじょっこ会は、米作りについて学び、先人の苦勞と文化・水と土と太陽の光に触れ、自然環境を守ることが目的です。

辻野代表のあいさつ後、のこぎり鎌を渡された子供たちは、指導員から鎌の使い方やワラでまるき方を教えてもらいながら、稲刈りに汗を流していました。「のこぎり鎌は危ないと思ったけど、慣れました。刈り取った稲は、きちんと揃えて置けたけど、ワラでまるくのはちょっとむずかしかったです。お米が大好きなので、ふりかけをかけて食べたいです。楽しみ」と笑顔で話してくれる子も。

集合写真を撮る前に、全員で落穂ひろいをしました。6粒のお米を種にすると、お茶碗一杯のご飯になります。稲刈りの体験をしている間、協力員は今日の参加者に、昨年田んぼの学校で収穫したコシヒカリのおにぎりやお赤飯のおにぎりを、四区町公民館で準備していました。（四区町 山崎智雄）



### 編集後記

西コミ広報誌「そすいの郷」は毎月20日発行ですが、次号（11/20号）は休刊です。「いも煮会・西公民館まつり」の掲載を予定していましたが、お知らせしたとおり、中止となったためです。「そすいの郷」は、コミュニティ活動を中心に編集していますので、行事などがある場合は発行予定ですが、12/20号以降は不定期刊行となりますので、ご了承ください。

（西地区コミュニティ運営委員会 広報編集部）